

奥会津だより



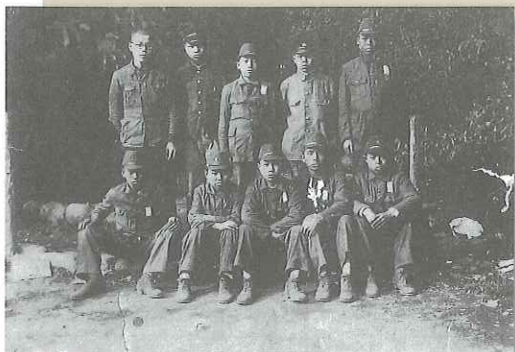
モノクロームの世界に色が戻った
陽を浴びた小川の土手は、真っ先に春を呼び込む場所のひとつ
自然の舞台から 雪がゆっくりと退場していく

こども聞き書き百選

『じいちゃん ありがとう』より

祖父の戦争

吉津 千晶★只見町立只見中学校 一年



昭和十八年の三月に卒業して四月一日から川崎の軍需工場、もとはカメラを作る会社だったんだが、戦争になって軍需工場になって、そこに働きに行った。ご飯は豆かすばっかりだったし、じゃがいもばっかりのときもあったし、カンパン十個くらいずつ。顔色良いのは上級生で、やせ細ってるのは一年生。毎日午前中は勉強で午後は訓練だ。勉強たつてな、鉄砲かついで戦争ごっこだ。勉強たつて、教育ちよく語、天皇の言葉を暗唱させられるとか、あと鉄砲かついで突きたとか行進が主だった。午後はせんばん工、小さいねじきりの仕事だった。

この話は、私の祖父に聞きました。祖父は昭和四年生まれで、祖父が小学校四年生のときに大東亜戦争が始まり、戦争教育をされたそうです。今は、戦争は本当にいやだと思ってるそうです。この話を聞いて、当時の生活の大変さがよく分かりました。戦争があったころの話を聞くことができ、とてもためになったと思います。

取材ノート

只見町・黒谷で聞く

祖父 吉津 五介さん

(昭和4年7月28日生 82歳)

孫 吉津 千晶さん

(平成10年1月10日生 14歳)

Q..川崎の軍需工場というのは、今の二コン、日本光学ではないですか？

五介さん..そうかもしれない。カメラ作っている会社だった。

武蔵溝ノ口。当時「産業豆戦士」なんて言われて連れていかれたなあ...。朝日尋常高等小学校にいる時に募集された。

Q..千晶さん、どうしてこの写真を選んだのかな？

千晶さん..じいちゃんとかいろいろ写真はないかな、と選びました。

Q..卒業して4月に川崎に行ったのですか？

五介さん..只見から男子3人。連れて行ってくれた人がいて、初めて汽車に乗って田島から行った。夜行列車に乗って行った記憶がある。

Q..軍需工場では何を作っていたのですか？

五介さん..あのお、爆弾投下するときに使う精密機械。あまり、詳しくは使わなかった。

Q..その工場には何人ぐらいいたのですか？

五介さん..8人部屋の寮があつて、100人ぐらいのが五棟、五中隊なんて言っていました。部屋には分隊長がいて、寮には小隊長、その上には中隊長がいた。さらに一番上に寮長がいました。大人の寮もありました。

Q..いっぱい食べたい盛りの頃に、ジャガイモばかり食べていたのですか？

五介さん..スイトンとか、麦かすつていのかそれが混ざつたご飯とか...。

Q..カンパン10個というのは？

五介さん..時々カンパンが出るんですよ。それを食べないで取っておいて、休みの時に、大森にいた姉のところへ土産で持って行ったんです。

Q..この写真に写っている人達は仲良かったですか？

五介さん..これは、仲良かった。イジメや呼び出されたり、不良みたいなのもいたけれど。

Q..五介さんは、ネジきりをやっていたのですか？

五介さん..小さいネジ、Oコンマ何ミリなんという、よくよく小さいやつ。

Q..少年航空隊に志願というのは？

五介さん..一旦帰って来てから、町で募集していて、ここから10人ぐ



ら行行った。

Q..その頃、特攻隊というのはどのように思っていましたか？

五介さん..海軍の航空隊、飛行機に乗って敵の軍艦に突っ込めば、それが手っ取り早いな、と。靖国神社に憧れていましたから...。

Q..千晶さん、古い写真を見ながらじいちゃんと話をしたのは初めてですか？

千晶さん..はい、戦争のことなどわからなかったもので、聞くことが出来てよかったです。

※この集合写真は、只見の自宅へ送るために上級生と撮ったもの。近くの二子多摩川園という公園で撮影した。金属供出のために、公園には何の遊具も無かった。撮影には時間がかかり、撮影時に「笑え、笑え」と言われてもなかなか笑えなかった。笑顔で元気な姿を親達に見せるためだったのかな、と五介さん。

大根干し



冬の間保存しておいた大根を、薄い短冊に切って茹で、春の陽の中に広げて干す。乾燥すると味わい深い切り干し大根ができる。雪が消えた場所を見つけて、あちこちにムシロが広げられる光景は、春の奥会津の風物詩。

祈りの世界 双体道祖神



三島町大谷集落のはずれ。並立した酒器持ちの双体道祖神には、悲しい恋の物語が秘められている。想い合いながらも娘は嫁ぎ、命を絶つ。若者は恋人を偲んで、双体の道祖神に二人の姿を刻んだという。記年はない。
(三島町 大谷地区)

里山の生き物たち セッケイカワゲラ

雪の上を歩いているセッケイカワゲラ(体長約1センチの小さな虫だ。-10度から10度くらいまでの寒さの中で活動する。雪の中で暮らし、春の雪解けの頃に川で産卵するため、自分の生まれた川の上流に向かって、ひたすら歩いていくのだという。眼をこらすと、動くものなどない雪の上で、彼ら在必死に歩いている姿に出会う季節だ。



薬になる野菜 大根



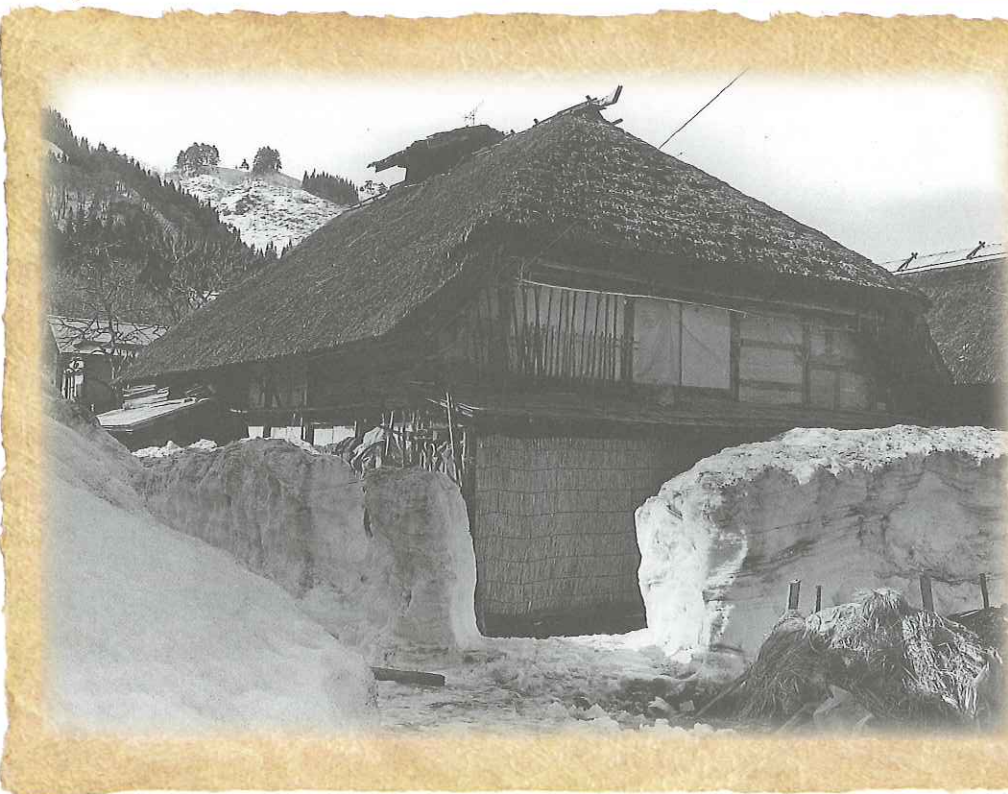
のどの痛みに即効性がある蜂蜜大根は、大根を賽の目に切って蜂蜜を注ぐと、みるみるうちに水分がにじみ出てきて、さらさらの液体になる。これをそのままゆっくりと喉に流し込むと、痛みが和らぐ。果物や野菜の種類が乏しい季節に、手軽に作れるのが重宝される。

ていねいな暮らし

写真・文 竹島 善一

冬の間、家と生活を守った雪囲いが姿を現した。雪は家への出入りに必要なだけ除けられる。早春の陽がまぶしい。

昭和52年3月 三島町西方地区



Q方言クイズ

クイズに答えて奥会津の地場産品を貰おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう?

「へったれむし」 ヒント：これから盛んに動き出します。

正解者の中から抽選で2名様に、只見町の「マタタビザル」をプレゼントいたします。

●応募方法：官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先：〒969-7511

福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979
奥会津書房 宛

●応募締切：2012年3月23日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。※クイズの答えは次号68号で発表いたします。



◎66号「おらいえ」の答え：「私の家」

たくさんのご応募ありがとうございました!

読者コーナー

お便り紹介

- 私の家でも、私が中学になる前にタバコを作っていました。(白遠州と松川)今思うと父母は苦労したと思います。(中略)親への感謝と思い出です。(川俣町 K.Sさん)
- いつも会津に行くと、柳津の道の駅で「奥会津だよりを手にします。表紙の写真が大好きです。同じ風景がないかと、町を見て歩くのが楽しみです。(東京都 M.Mさん)
- 昔の写真を通して家族が話をするというスタイルは新鮮です。(山形県南陽市 I.Sさん)
- 表紙にあるザルは私が子どもの頃、親たちが使っていたものに似ています。何年も大切に使用していた道具のひとつです。今はプラスチック製のものが増えていますが、あの頃の、物に対する気持ちを思い出しました。(栃木県小山市 S.Aさん)

奥会津だよりの無料送付のご案内

ご希望の方は事務局まで送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。

問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局

TEL.0241-48-5525 FAX.0241-48-5575

E-mail: webmaster@okuaizu.net

●11名が「奥会津案内人実践コース」を修了されました

「奥会津大学」では、奥会津案内人養成コースの終了認定者を対象に「実践コース」を開催し、去る2月8日、11名の方に「奥会津案内人実践コース修了認定書」が授与されました。今後、奥会津の観光ガイドとしての活躍が期待されています。

- 奥会津案内人実践コース(全11回) 平成23年11月9日～平成24年2月8日 参加延べ人数は104名でした。



写真：11名の案内人の記念撮影

●歳時記の郷・奥会津ファンクラブの新規会員を募集しています。無料

応募対象者：当協議会管内の住民を除く

ファンクラブ加入申し込みは下記ホームページの右下にあるバナーをクリックして必要項目入力の上、お申し込み下さい。

<http://www.okuaizu.net>

歳時記の郷・奥会津

検索

又は下記まで電話でお問合せ下さい。

TEL.0241-48-5525

3月中旬～5月中旬

奥会津イベント情報

日時	イベント名	町村名	場所	問合せ
3月17日(土)～18日(日)	第31回三島町生活工芸品展 第11回全国編み組工芸品展	三島町	三島町生活工芸館 三島町交流センター山びこ	三島町生活工芸館 0241-48-5502
3月18日(日)	福寿草まつり	昭和村	昭和村下中津川下坪地区	福寿草まつり実行委員会 0241-57-2344
3月18日(日)	第2回高畑スプリングレース	伊南地域	会津高原高畑スキー場	会津高原高畑スキー場 0241-76-2231
3月31日(土)	第18回林千春メモリアルGS	檜枝岐村	尾瀬檜枝岐温泉スキー場	檜枝岐スキークラブ事務局 0241-75-2500
4月1日(日)	溪流釣り解禁	伊南地域	伊南川、伊南川支流	南会津西部非出資漁業協同組合 0241-72-2110
4月1日(日)	第36回朝日杯スラローム	檜枝岐村	尾瀬檜枝岐温泉スキー場	檜枝岐村役場企画観光課 0241-75-2503
4月7日(土)	千葉之家花駒座新春歌舞伎公演	檜枝岐村	檜枝岐村歌舞伎東雲館4階ホール(檜枝岐村公民館)	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 0241-75-2432
4月28日(土)	金山町妖精美術館オープン	金山町	金山町妖精美術館	金山町役場産業課 0241-54-5327
4月28日(土)～5月6日(日)	からむし市	昭和村	からむし織の里「からむし工芸博物館」	からむし工芸博物館 0241-58-1677
4月29日(日)	久保田三十三観音祭り	柳津町	柳津町久保田地区	柳津町役場地域振興課観光商工班 0241-42-2114
4月下旬～5月上旬	うえんで桜まつり	伊南地域	伊南地域小塩地区	南会津町観光物産協会伊南観光センター 0241-76-2517
5月3日(祝・木)～5日(土)	鬼子母神例大祭	三島町	西方地区、鬼子母神・西隆寺	三島町観光協会 0241-48-5000
5月4日(祝・金)	博士山水芭蕉まつり	昭和村	水芭蕉としらかばの杜(昭和村小野川地区)	昭和村観光協会(商工会内) 0241-57-3100
5月上旬	高清水自然公園オープン	南郷地域		みなみやま観光株式会社 0241-62-2250
5月12日(土)	愛宕神祭礼奉納歌舞伎	檜枝岐村	檜枝岐の舞台	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 0241-75-2432
5月13日(日)	第2回飯谷山山開き	柳津町	野老沢会館前	柳津町B&G海洋センター 0241-42-2246
5月13日(日)	要害山トレッキング	只見町	只見駅前広場集合～要害山	只見町観光まちづくり協会 0241-82-5250
5月13日(日)	長卸山山開き	館岩地域	木賊温泉「広瀬の湯」前	南会津町観光物産協会館岩観光センター 0241-78-2546
5月20日(日)	第47回博士山山開き	柳津町	式典会場：博士山麓登山口	柳津町B&G海洋センター 0241-42-2246
5月20日(日)	第2回南会津トレイルラン大会	館岩地域	たかつえスキー場	南会津町観光物産協会館岩観光センター 0241-78-2546
5月27日(日)	大嵐山・湯ノ倉山山開き	館岩地域	湯ノ花温泉交流センター	南会津町観光物産協会館岩観光センター 0241-78-2546
6月10日(日)	田代山山開き	館岩地域	猿倉登山口	南会津町総合支援センター 0241-78-2110
協議会より	1月15日発行「奥会津だよりの第66号」掲載イベント情報の中で、福寿草まつり(昭和村)の日程が誤っておりましたので訂正させていただきます。 誤：3月20日(祝・火) ⇒ 正：3月18日(日)			

風っこ会津只見号運行

●5月3日(祝・木)～6日(日)

●会津若松駅～会津川口駅間(1日1往復)



発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷、伊南、館岩地域)・檜枝岐村)
発行日：3月15日発行(年6回発行) 事務局：〒969-7511 福島県大沼郡三島町町民センター(奥会津振興センター内) TEL.0241-48-5525
<http://www.okuaizu.net> webmaster@okuaizu.net 編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580

★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。